



ひらかわ

# 市議会だより

平成29年  
3月定例会

第46号

平成29年(2017年)  
6月15日発行



## 目次

◆平成29年第1回(3月)定例会(概要)	2
(審議した議案)	3~6
◆予算特別委員会(平成29年度予算審査)	7~10
◆議決一覧表	11~12
◆市政に関する一般質問より(12議員)	13~19
◆議会の動き・編集室から	20

発行：青森県平川市議会 編集：平川市議会広報特別委員会

〒036-0104 青森県平川市柏木町藤山25番地6 TEL(0172)44-1111 FAX(0172)44-6988  
平川市ホームページ：<http://www.city.hirakawa.lg.jp/> メールアドレス：[gikai@city.hirakawa.lg.jp](mailto:gikai@city.hirakawa.lg.jp)  
この印刷物は11,000部作成し、印刷経費は1部あたり約17.7円です。

# 第1回定例会 (3月)

## 予算特別委員会 設置

平成29年第1回平川市議会定例会は、3月1日から16日までの16日間を会期として開催されました。本定例会では、平成29年度一般会計などの予算（25件）を審査するために議員全員で構成する予算特別委員会が設置されました。

今回提出された議案は、人事案件2件、条例改正案9件、予算案25件、補正予算案13件、市有財産の減額貸付けについて1件、規約の変更1件、計画の変更2件、市道路線の認定1件、指定管理者の指定及び管理の期間について3件、工事の請負契約1件、報告1件の、合計59件でした。また、最終日（16日）には、条例案1件、条例改正案1件、補正予算案1件が追加議案として提出されました。

これらを慎重に審議した結果、議案第21号から第24号の4件は起立採決の結果、原案可決となりました。その他の議案については、すべて原案同意または原案可決となりました。



### 【会期日程】

- 3月1日(水)本会議
- 3月2日(木) (議案熟考のため休会)
- 3月3日(金)常任委員会
- 3月4日(土) (休会)
- 3月5日(日) (休会)
- 3月6日(月)本会議(一般質問1日目)
- 3月7日(火)本会議(一般質問2日目)
- 3月8日(水)本会議(一般質問3日目)
- 3月9日(木) 予算特別委員会
- 3月10日(金) (議事整理のため休会)
- 3月11日(土) (休会)
- 3月12日(日) (休会)
- 3月13日(月) 予算特別委員会
- 3月14日(火) 予算特別委員会
- 3月15日(水) (議事整理のため休会)
- 3月16日(木) 本会議(最終日)



# 審議した議案

## 人事案件

### ●平川市教育委員会委員に

ささき さちこ  
佐々木 幸子 氏を同意

平川市教育委員会委員 佐々木幸子氏の任期が、平成29年3月5日をもって満了するので、再任について同意を求めるため。

### ●人権擁護委員候補者推薦に

さいとう ちえこ  
齋藤 千恵子 氏を同意

人権擁護委員 齋藤千恵子氏の任期が、平成29年6月30日をもって満了するので、再任について意見を求め推薦するため。

## 条例案・条例改正案

### ●平川市個人情報保護条例の一部を改正する条例案

（平成29年5月30日から施行）

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部改正に伴い、所要の改正を行うため。

### ●平川市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例案

（平成29年4月1日から施行）

地方公務員の育児休業等に関する法律及び育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律等の改正に伴い、育児を行う職員の早出遅出勤務等に係る子の範囲を拡大し、介護のため1日の勤務時間の一部につき勤務しないことが相当であると認められる場合における休暇を設け、及びその他所要の改正を行うため。

#### 質 疑

**問** 介護休業等による遅出早出の勤務に関して、市民への負担は。

**答** 組織で取得する職員をカバーし、配慮したうえで運用していく。

### ●平川市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例案

（平成29年4月1日から施行）

地方公務員の育児休業等に関する法律の改正に伴い、育児休業等の対象となる子に含まれる者を定め、育児休業をすることができない職員を改め、及びその他所要の改正を行うため。

### ●平川市税条例の一部を改正する条例案

（平成29年4月1日から施行）

地方税法等の一部改正に伴い、軽自動車税におけるグリーン化特例の適用期限を延長するため。

#### 質 疑

**問** グリーン化特例の適用を受けた車両台数は。

**答** 平成28年度の対象車両台数は、25%軽減に当たるものが386台、50%軽減に当たるものが119台である。

### ●平川市運動施設条例の一部を改正する条例案

（平成29年4月1日から施行）

平川市陸上競技場及び平賀多目的広場を設置し、当該施設の使用料を定め、並びにその他所要の改正を行うため。

#### 質 疑

**問** 陸上競技場や多目的広場の使用料の根拠は。

**答** ランニングコストを基本として面積や使用時間の長さを考慮し、1時間当たりの使用料を算出して定めたものである。

●平川市子ども医療費給付条例の一部を改正する条例案

（平成29年8月1日から施行）

通院医療費の助成対象となる年齢を引き上げ、及び  
 その他所要の改正を行うため。

質 疑

問 中学生が現物給付の対象とならなかった理由について。

答 給付件数が少ないことと、別途システム改修に係る費用が必要となるため。

●平川市包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案

（平成29年3月16日から施行）

介護保険法施行規則の一部改正に伴い、地域包括支援センターの職員に係る基準を改めるため。

質 疑

問 今回の条例改正により対象となる人数は。

答 当市の地域包括支援センターに配置されている主任介護支援専門員1名である。

●平川市工場立地法地域準則条例の一部を改正する条例案

（平成29年4月1日から施行）

地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律の施行による工場立地法の一部改正に伴い、所要の改正を行うため。

質 疑

問 改正の内容について。

答 工場立地法の一部改正に伴う改正であり、条例の趣旨に変わりはない。

●平川市企業職員の給与の種類及び基準を定める条例の一部を改正する条例案

（平成29年4月1日から施行）

地方公務員の育児休業等に関する法律の改正に伴い、給与の減額に係る部分休業の対象となる子の範囲を拡大するため。

●平川市特別職の職員の給料等に関する条例の一部を改正する条例案

（平成29年3月16日から施行）

市長及び副市長の給料月額を減額するため。

●平川市職員公務災害等弔慰金及び見舞金支給条例案

（平成29年3月16日から施行）

職員等が公務上の災害又は通勤による災害を受け、これにより死亡した場合にその遺族に対して弔慰金を支給し、もしくは障害の状態となった場合にその者に対して見舞金を支給するに当たり、必要な事項を定めるため。

そ の 他

●青森県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体数の減少及び青森県市町村総合事務組合規約の変更について

（平成29年4月1日から施行）

構成団体である八戸市階上町田代小学校中学校組合が平成29年3月31日をもって解散することに伴い、青森県市町村総合事務組合規約の変更について関係地方公共団体と協議する必要があるため。

●平川市過疎地域自立促進計画の変更について

平川市過疎地域自立促進計画を変更するに当たり、過疎地域自立促進特別措置法第6条第7項において準用する同条第1項の規定により議会の議決を必要とするため。

質 疑

問 スクールバスの経過年数と総走行距離は。

答 平成13年購入で、総走行距離が約16万キロメートルである。

●東部辺地総合整備計画の変更について

東部辺地総合整備計画を変更するに当たり、辺地に係る公共的施設の総合整備のための財政上の特別措置等に関する法律第3条第8項において準用する同条第1項の規定により議会の議決を必要とするため。

## 質 疑

**問** 除雪機械の更新の考え方について。

**答** 雪寒法に基づく補助事業で更新しており、雪寒指定路線により除雪機械の台数が定められているため補助事業を活用しての増強は難しく、除雪体制でカバーしていく考えである。

## ●市有財産の減額貸付けについて

市有の建物をあすなろ理研株式会社に減額貸付けするため。

## 質 疑

**問** 貸付料の算定根拠について。

**答** 消防署から火災警報装置の制御盤がある部屋には常時人を配置するようにとの指導から貸付面積が増えるものの、減価償却及び3年間の実績を勘案した結果、減額貸付となっている。

## ●市道路線の認定について

道路法第8条第2項の規定に基づき、市道の路線を認定するため。

## 質 疑

**問** 市道路線認定に至る経緯について。

**答** 平成22年度から平成27年度にかけて県の事業として整備してきた農道が完成し、県より財産譲与されたことから市道として認定するものである。

## ●工事の請負契約について

平賀東小学校校舎及び屋内体育館改築工事について、請負契約を締結するため。

## 補正予算（平成28年度）

## 一 般 会 計

## ●補正予算案（第4号）

予算の総額に歳入歳出それぞれ4億9,156万5,000円を追加し、総額を188億3,656万5,000円とする。

## 質 疑

**問** ふるさと納税の申し込み状況について。

**答** 1月31日時点での寄附総額は2億6,900万円となっている。

## ●補正予算案（第5号）

予算の総額に歳入歳出それぞれ2,520万円を追加し、総額を188億6,176万5,000円とする。

## 質 疑

**問** 弔慰金及び見舞金はもう請求されているのか。

**答** 公務災害の認定があった事実を確認したうえで手続きを行うため、まだ請求はされていない。

## 国民健康保険特別会計

予算の総額から歳入歳出それぞれ5,157万1,000円を減額し、総額を46億8,123万7,000円とする。

## 質 疑

**問** 医療費に係る保険給付費増加の対策について。

**答** 健康福祉部と一体となった健康づくりへの取り組みや、頻回・重複医療に対する指導、ジェネリック医薬品の推奨などを実施している。

## 学校給食センター特別会計

予算の総額に歳入歳出それぞれ4億3,761万7,000円を追加し、総額を7億7,821万9,000円とする。

## 簡易水道特別会計

予算の総額から歳入歳出それぞれ1,236万6,000円を減額し、総額を1,990万9,000円とする。

## 質 疑

**問** 減額の理由は。

**答** 当初予算では東部地区にある4つの簡易水道を統合する計画を見込んでいたが、辺地債を活用するほうが有益であるため、予算不執行とするため減額となった。

## 下水道事業会計

3事業合わせて、収益的収入を248万7,000円、収益的支出を581万2,000円減額し、資本的収入を1,073万6,000円、資本的支出を890万円減額する。

## 報 告

### 財産区一般会計

広船、大坊、石郷、大字大光寺、平田森、新尾崎、岩館、碓ヶ関

分収造林契約を締結している森林総合研究所の事業計画変更のため、全8件の予算総額から歳入歳出それぞれ1,329万3,000円を減額し、予算総額を歳入歳出それぞれ679万円とする。

#### ●専決第14号 工事の請負変更契約について

平成27年6月4日に本契約した第2期平賀総合運動施設整備（1工区）工事について、工事請負変更契約を締結する。

#### ●専決第15号 工事の請負変更契約について

平成27年6月4日に本契約した第2期平賀総合運動施設整備（2工区）工事について、工事請負変更契約を締結する。

### 指定管理者の指定及び指定管理の期間一覧表

施設名称	指定管理者	期 間
古懸コミュニティ浴場	古懸町内会	平成29年4月1日～平成32年3月31日
久吉たけのこ温泉	久吉地区町会	
久吉温泉自然休暇村 たけのこの里	碓ヶ関開発株式会社	平成29年4月1日～平成30年3月31日

## 議 会 を 傍 聴 して み ま せ ん か

定例会は3月、6月、9月、12月に行われます。

### \*インターネット中継の方法が変わりました\*

平成29年第1回定例会より、議会中継をUstream（ユーストリーム）からYouTube（ユーチューブ）のサービスに変更することとなり、生中継のみならず録画配信も可能となりました。

詳しい御利用方法は市のホームページをご覧ください。

詳しくは議会事務局まで 電話（0172）44-1111（内線1511）

# 予算特別委員会

平成29年度一般会計予算

## 総額196億円

(前年度比 10.1%増)

予算特別委員会は、3月9日、13日、14日の3日間、平成29年度予算案について審査しました。

議員全員を委員とし、委員長に田中友彦委員、副委員長に原田 淳委員が選任されました。

各委員から活発な質疑が行われた結果、一般会計、国民健康保険、介護保険及び後期高齢者医療特別会計は賛成多数で、その他会計予算案は全会一致で可決されました。

(※質疑内容は要約し、また、討論は本会議より抜粋して掲載しています。)



田中友彦 委員長



原田 淳 副委員長

## 一般会計

### 歳入全般

**問** 法人市民税割が減となった理由と税率は。

**答** 法人税割を納める企業の移転、企業収益の減少及び設備投資により減収が見込まれるため。また、税率は、制限税率の12.1%である。

**問** 空き家及び遊休農地等の所有者が不明の場合の取扱いについて。

**答** 所有者不明の空き家、遊休農地等にかかわる固定資産の対応は課税保留としている。

## 歳出全般

### 総務費

**問** 平賀駅構内市民歌発着ベル設定業務委託料の事業内容について。

**答** 市民歌の普及と愛着を持ってもらうため、弘南鉄道の平賀駅構内において、電車が発着する際の20秒間の電子音を市民歌のメロディーにするものである。

### 民生費

**問** 地域における共助の基盤づくり等事業委託料について。

**答** 現在も実施しているほのほのコミュニティ21推進事業の財源と名称を変更するもので、事業内容は同じである。

## 衛生費

**問** 子育て世代包括支援センター検討委員会の構成について。

**答** 保育園・幼稚園などの事業者や小学校等の関係機関の者、医療関係者等の専門知識を有した者などの中から15人ほど委嘱したい。

## 農林水産業費

**問** 農道除雪対策事業補助金の内容について。

**答** リンゴ園の剪定作業を早期に実施するため共同防除組織などが行う農道、支線の除雪に係る経費の一部を補助するものである。

## 商工費

**問** ひらかわ検定事業の受検者数は。

**答** 平成26年度は初級へ52名が受検し44名が合格、平成27年度は初級24名のうち17名が合格、中級25名のうち19名が合格している。平成28年度は初級19人、中級14人が受検しているが、結果はまだ出ていない。

## 土木費

**問** 民間宅地開発事業補助金の内容は。

**答** 市街化区域において、土地代が高い等の理由からいまだ宅地化されていない土地が多く存在しており、宅地分譲を促進するため助成するものである。

## 消防費

**問** 自主防災組織育成事業補助金の内容は。

**答** 各町会に自主防災組織設立を呼びかけ、発電機、灯光器、ヘルメット等の資機材の整備をすることを目的に補助するものである。

## 教育費

**問** 国際交流事業の募集者数は。

**答** 平成24年度から28年度まで、それぞれ13名、18名、16名、16名、14名である。

### 反対討論あり

平成29年度の地方財政計画は、国の社会保障削減路線と歩調を合わせて歳出が抑制されており、細部に目が行き届かないことが危惧される。また、まち・ひと・しごと創生事業、人口減少等対策、地域の元気創造事業が成果による算定にシフトすることや、その他の施策も納得できないところがあるため、反対する。

### 賛成討論あり

市民の福祉対策、教育環境の充実を図るための関連予算が確保されており、第2次平川市長期総合プランの実現に向け大胆できめ細かい目配りがされた予算であるため、賛成する。

# 特別会計

## 国民健康保険特別会計

**問** 当市における国庫補助金の活用内容について。

**答** 医療費の支払いや保健事業の展開が中心である。

### 反対討論あり

高額療養制度の負担上限額の引き上げや療養病床に入院する65歳以上の居住費の引き上げなどの負担が強いられている予算案であり、都道府県化移行前の国保税引き上げは絶対に行うべきではないと考えるため、反対する。

### 賛成討論あり

本予算は保険税負担の軽減に十分配慮しており、健全な財政運営を保ったまま平成30年度の県単位化へ移行できることを考慮したものであるため、賛成する。

## 介護保険特別会計

**問** 第1号被保険者の保険料の人数は。

**答** 1万161人を見込んでいます。

**反対討論あり**

国は国庫補助の削減をさらに目指しており、また、平川市でも要支援者の訪問介護と通所介護を保険給付から外す総合事業の実施や、高額介護サービスの一般区分の月額負担上限額を引き上げるなどの負担増を強いる予算案のため、反対する。

**賛成討論あり**

本予算は必要な介護サービスを利用するための給付費を適正に確保しており、また、団塊の世代が後期高齢者となる平成37年度を見据えて制度を改善するものであるため、賛成する。

**後期高齢者医療特別会計**

**反対討論あり**

平成29年4月から低所得者に対する保険料の軽減措置が縮小され、高齢者狙い撃ちの負担増が含まれていることから反対する。

**賛成討論あり**

平成29年度から実施される保険料の軽減特例の一部見直しは加入者の保険料負担の公平性確保のためであり、公平な財政負担を確保するための予算案であることから賛成する。

**学校給食センター特別会計**

**問** 学校給食の市内からの材料費と割合は。

**答** 市内業者からの購入割合は重量ベースで16.1%、3万2,700キロ、金額ベースでは13%、1,160万4,713円である。

**水道事業会計**

**問** 給水戸数が増となった理由は。

**答** 昨年度の平均から水量と加入戸数を推計した結果、来年度は89戸多くなる見込みを立てているため。

**下水道事業会計**

**問** 人口が減っているのに戸数が増えた理由は。

**答** 核家族化が進んだのが原因である。

**平成29年度 各種会計当初予算**

(単位：千円、%)

会計名		本年度予算額	前年度予算額	増減額	増減率	
特別会計	国民健康保険	4,777,812	4,635,434	142,378	3.1	
	介護保険	3,824,337	3,791,820	32,517	0.9	
	後期高齢者医療	269,836	259,569	10,267	4.0	
	診療所	313,338	332,900	△ 19,562	△ 5.9	
	学校給食センター	316,873	340,262	△ 23,389	△ 6.9	
	尾上地区住宅団地温泉事業	11,397	13,717	△ 2,320	△ 16.9	
	簡易水道	16,794	32,275	△ 15,481	△ 48.0	
企業会計	水道事業	事業収益	568,334	563,070	5,264	0.9
		事業費用	476,609	483,390	△ 6,781	△ 1.4
		資本的収入	14,510	17,007	△ 2,497	△ 14.7
		資本的支出	116,338	146,470	△ 30,132	△ 20.6
	下水道事業	事業収益	948,013	982,466	△ 34,453	△ 3.5
		事業費用	1,039,258	1,073,836	△ 34,578	△ 3.2
		資本的収入	454,647	463,851	△ 9,204	△ 2.0
		資本的支出	727,800	702,684	25,116	3.6

## 平成29年度 一般会計当初予算

【歳入】

(単位：千円、%)

区 分	本年度予算額	構 成 比	前年度予算額	増 減 額	増 減 率
市 税	2,281,640	11.6	2,263,652	17,988	0.8
地方譲与税	185,000	0.9	185,000	0	0
利子割交付金	2,000	0	3,000	△ 1,000	△ 33.3
配当割交付金	2,000	0	2,000	0	0
株式等譲渡所得割交付金	1,000	0	300	700	233.3
地方消費税交付金	470,000	2.4	350,000	120,000	34.3
ゴルフ場利用税交付金	11,000	0.1	11,000	0	0
自動車取得税交付金	25,000	0.1	25,000	0	0
地方特例交付金	10,000	0.1	10,000	0	0
地方交付税	7,300,000	37.3	7,600,000	△ 300,000	△ 3.9
交通安全対策特別交付金	4,000	0	4,000	0	0
分担金及び負担金	23,590	0.1	48,321	△ 24,731	△ 51.2
使用料及び手数料	100,369	0.5	102,304	△ 1,935	△ 1.9
国庫支出金	2,841,740	14.5	2,524,415	317,325	12.6
県 支 出 金	1,243,561	6.3	1,265,611	△ 22,050	△ 1.7
財 産 収 入	33,085	0.2	37,993	△ 4,908	△ 12.9
寄 附 金	100,001	0.5	30,001	70,000	233.3
繰 入 金	706,758	3.6	624,699	82,059	13.1
繰 越 金	1	0	1	0	0
諸 収 入	562,555	2.9	487,803	74,752	15.3
市 債	3,696,700	18.9	2,224,900	1,471,800	66.2
歳入合計	19,600,000	100.0	17,800,000	1,800,000	10.1

【歳出】

(単位：千円、%)

区 分	本年度予算額	構 成 比	前年度予算額	増 減 額	増 減 率
議 会 費	162,273	0.8	162,353	△ 80	0
総 務 費	2,335,277	11.9	1,814,250	521,027	28.7
民 生 費	5,745,645	29.3	5,669,859	75,786	1.3
衛 生 費	948,641	4.9	989,667	△ 41,026	△ 4.1
労 働 費	80	0	81	△ 1	△ 1.2
農林水産業費	877,051	4.5	938,741	△ 61,690	△ 6.6
商 工 費	680,918	3.5	500,642	180,276	36.0
土 木 費	1,545,425	7.9	1,680,850	△ 135,425	△ 8.1
消 防 費	769,615	3.9	758,167	11,448	1.5
教 育 費	4,204,277	21.5	2,740,243	1,464,034	53.4
災害復旧費	47,753	0.2	52,275	△ 4,522	△ 8.7
公 債 費	2,223,045	11.3	2,432,872	△ 209,827	△ 8.6
予 備 費	60,000	0.3	60,000	0	0
歳出合計	19,600,000	100.0	17,800,000	1,800,000	10.1

## 平成29年（3月議会） 第1回 定例会議決一覧表

議案番号	議案名	本会議		常任委員会等		
		結果	備考	付託先	結果	備考
<b>【人事案件】</b>						
1	平川市教育委員会委員の任命について	原案同意		付託省略		
2	人権擁護委員候補者の推薦について	原案同意		付託省略		
<b>【条例案・条例改正案】</b>						
3	平川市個人情報保護条例の一部を改正する条例案	原案可決		総務企画	原案可決	
4	平川市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例案	原案可決		総務企画	原案可決	
5	平川市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例案	原案可決		総務企画	原案可決	
6	平川市税条例の一部を改正する条例案	原案可決		総務企画	原案可決	
7	平川市運動施設条例の一部を改正する条例案	原案可決		教育民生	原案可決	
8	平川市子ども医療費給付条例の一部を改正する条例案	原案可決		教育民生	原案可決	
9	平川市包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案	原案可決		教育民生	原案可決	
10	平川市工場立地法地域準則条例の一部を改正する条例案	原案可決		建設経済	原案可決	
11	平川市企業職員の給与の種類及び基準を定める条例の一部を改正する条例案	原案可決		総務企画	原案可決	
59	平川市特別職の職員の給料等に関する条例の一部を改正する条例案	原案可決		付託省略		
60	平川市職員公務災害等弔慰金及び見舞金支給条例案	原案可決		付託省略		
<b>【その他】</b>						
12	青森県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体数の減少及び青森県市町村総合事務組規約の変更について	原案可決		総務企画	原案可決	
13	平川市過疎地域自立促進計画の変更について	原案可決		総務企画	原案可決	
14	東部辺地総合整備計画の変更について	原案可決		総務企画	原案可決	
15	市有財産の減額貸付けについて	原案可決		総務企画	原案可決	
16	市道路線の認定について	原案可決		建設経済	原案可決	
17	平川市古懸コミュニティ浴場の指定管理者の指定及び指定管理者の管理の期間について	原案可決		総務企画	原案可決	
18	平川市久吉たけのこ温泉の指定管理者の指定及び指定管理者の管理の期間について	原案可決		総務企画	原案可決	
19	平川市久吉温泉自然休暇村たけのこの里の指定管理者の指定及び指定管理者の管理の期間について	原案可決		総務企画	原案可決	
20	工事の請負契約について	原案可決		総務企画	原案可決	挙手採決
<b>【予算案】</b>						
21	平成29年度平川市一般会計予算案	原案可決	起立採決	予算特別	原案可決	起立採決
22	平成29年度平川市国民健康保険特別会計予算案	原案可決	起立採決	予算特別	原案可決	起立採決
23	平成29年度平川市介護保険特別会計予算案	原案可決	起立採決	予算特別	原案可決	起立採決
24	平成29年度平川市後期高齢者医療特別会計予算案	原案可決	起立採決	予算特別	原案可決	起立採決
25	平成29年度平川市国民健康保険診療施設事業診療所特別会計予算案	原案可決		予算特別	原案可決	
26	平成29年度平川市学校給食センター特別会計予算案	原案可決		予算特別	原案可決	
27	平成29年度平川市尾上地区住宅団地温泉事業特別会計予算案	原案可決		予算特別	原案可決	
28	平成29年度平川市簡易水道特別会計予算案	原案可決		予算特別	原案可決	

議案番号	議案名	本会議		常任委員会等		
		結果	備考	付託先	結果	備考
29	平成29年度平川市水道事業会計予算案	原案可決		予算特別	原案可決	
30	平成29年度平川市下水道事業会計予算案	原案可決		予算特別	原案可決	
31	平成29年度平川市広船財産区一般会計予算案	原案可決		予算特別	原案可決	
32	平成29年度平川市小和森財産区一般会計予算案	原案可決		予算特別	原案可決	
33	平成29年度平川市大坊財産区一般会計予算案	原案可決		予算特別	原案可決	
34	平成29年度平川市石郷財産区一般会計予算案	原案可決		予算特別	原案可決	
35	平成29年度平川市柏木町財産区一般会計予算案	原案可決		予算特別	原案可決	
36	平成29年度平川市平田森財産区一般会計予算案	原案可決		予算特別	原案可決	
37	平成29年度平川市新尾崎財産区一般会計予算案	原案可決		予算特別	原案可決	
38	平成29年度平川市新館財産区一般会計予算案	原案可決		予算特別	原案可決	
39	平成29年度平川市沖館財産区一般会計予算案	原案可決		予算特別	原案可決	
40	平成29年度平川市葛川財産区一般会計予算案	原案可決		予算特別	原案可決	
41	平成29年度平川市吹上・高畑財産区一般会計予算案	原案可決		予算特別	原案可決	
42	平成29年度平川市原田財産区一般会計予算案	原案可決		予算特別	原案可決	
43	平成29年度平川市館田財産区一般会計予算案	原案可決		予算特別	原案可決	
44	平成29年度平川市岩館財産区一般会計予算案	原案可決		予算特別	原案可決	
45	平成29年度平川市碓ヶ関財産区一般会計予算案	原案可決		予算特別	原案可決	
<b>【補正予算案】</b>						
46	平成28年度平川市一般会計補正予算案（第4号）	原案可決		総務企画	原案可決	
47	平成28年度平川市国民健康保険特別会計補正予算案（第4号）	原案可決		教育民生	原案可決	
48	平成28年度平川市学校給食センター特別会計補正予算案（第3号）	原案可決		教育民生	原案可決	
49	平成28年度平川市簡易水道特別会計補正予算案（第1号）	原案可決		総務企画	原案可決	
50	平成28年度平川市下水道事業会計補正予算案（第3号）	原案可決		建設経済	原案可決	
51	平成28年度平川市広船財産区一般会計補正予算案（第2号）	原案可決		総務企画	原案可決	
52	平成28年度平川市大坊財産区一般会計補正予算案（第1号）	原案可決		総務企画	原案可決	
53	平成28年度平川市石郷財産区一般会計補正予算案（第1号）	原案可決		総務企画	原案可決	
54	平成28年度平川市大字大光寺財産区一般会計補正予算案（第3号）	原案可決		総務企画	原案可決	
55	平成28年度平川市平田森財産区一般会計補正予算案（第1号）	原案可決		総務企画	原案可決	
56	平成28年度平川市新尾崎財産区一般会計補正予算案（第1号）	原案可決		総務企画	原案可決	
57	平成28年度平川市岩館財産区一般会計補正予算案（第1号）	原案可決		総務企画	原案可決	
58	平成28年度平川市碓ヶ関財産区一般会計補正予算案（第1号）	原案可決		総務企画	原案可決	
61	平成28年度平川市一般会計補正予算案（第5号）	原案可決		付託省略		
<b>【報告】</b>						
1	専決処分した事項の報告について					
	・専決第14号 工事の請負変更契約について					
	・専決第15号 工事の請負変更契約について					

# 市政に関する一般質問より

一般質問は、議員が行政全般にわたり、執行機関に対して事務の執行状況及び将来に対する方針等について質問します。ここでは内容を要約して掲載しております。



平成29年第1回（3月）定例会 一般質問傍聴席

※3月定例会では24名の方が傍聴されました。

## 1. 原田 淳 議員（一問一答方式）

1. 当市の米政策について
2. 小・中学校の洋式トイレ化について
3. ふるさと納税について
4. 当市の再任用について

## 2. 山口 金光 議員（一括質問方式）

1. 「魅力ある人づくり」について

## 3. 長内 秀樹 議員（一問一答方式）

1. りんご産業の方向性について
2. 第2次長期総合プラン「子育てしやすさナンバーワン」について
3. 公衆無線LAN整備事業について

## 4. 工藤 竹雄 議員（一問一答方式）

1. 台中市との友好交流に関する協定について
2. 職員の転落事故について

## 5. 大川 登 議員（一括質問方式）

1. 第2期総合運動施設整備事業について
2. 水道行政について
3. 信号機の制御について

## 6. 齋藤 律子 議員（一問一答方式）

1. 平成29年1月25日発生 of 雪下ろしでの職員死亡事件について
2. 就学援助制度の改善について
3. 平川市役所本庁舎建設問題について

## 7. 佐藤 保 議員（一問一答方式）

1. 平川市の自然災害対策について
2. 第2次平川市長期総合プランについて

## 8. 工藤 貴弘 議員（一問一答方式）

1. 市職員の転落事故をふまえた市の安全管理・対策について
2. 地域おこし協力隊について
3. ワーク・ライフ・バランスの実現について

## 9. 工藤 秀一 議員（一問一答方式）

1. 消防団員について
2. 碓ヶ関総合支所について

## 10. 佐藤 雄 議員（一問一答方式）

1. 入札の状況について

## 11. 佐藤 寛 議員（一括質問方式）

1. 道路の除雪対策について
2. 障害者への支援対策について
3. バス運行について

## 12. 石田 昭弘 議員（一問一答方式）

1. 子育て支援について
2. 高齢者の交通対策について
3. 観光振興について



原田 淳 議員

会派：新風の会  
行政区：沖館

※インバウンド

元々は「外から中に入り込む」という意味だが、一般的に外国人の訪日旅行の意味で使われることが多い。

### 1. 当市の米政策について

問 国の米政策見直しによる当市への影響と対策について。

答 平川市農業再生協議会では、県協議会から情報提供された生産数量目標及び参考値をもとに各生産者の生産数量目標を設定し、各生産者へ情報提供していく予定である。

### 2. 小・中学校の洋式トイレ化について

問 洋式トイレへの改修計画について。

答 松崎小学校は平成32年度からトイレ洋式化を含めた大規模改修を考えており、その他の洋式化率の低い学校についても洋式化計画を策定していきたい。

### 3. ふるさと納税について

問 ふるさと納税の活用事業について。

答 平成29年度の活用事業は、小学生までの医療費完全無料化の実施、中央公園大型遊具の整備、インバウンド<sup>(※)</sup>推進事業、公衆無線LAN環境整備事業、健康ポイント事業、すこやか住宅支援補助金などを考えている。

### 4. 当市の再任用について

問 再任用の更新上限年齢を厚生年金の支給開始年齢までとしている理由は。

答 国は、公的年金の支給開始年齢が引き上げられることに伴い、雇用と年金の接続に関する方針を閣議決定した。当市では、その閣議決定の内容や県内他市の状況などを考慮して再任期間上限を決定したものである。



山口 金光 議員

会派：一心会  
行政区：猿賀



### 1. 「魅力ある人づくり」について

問(1) 下記行政の目標を達成する喫緊の主要施策に関する協働組織・財源・経費及び評価について。

- ① 住みよさ、出会い、移住・定住の促進
- ② 安心をはぐくむ子育て
- ③ 未来を切り拓く子どもたちの育成
- ④ スポーツライフの推進、文化芸術振興

(2) 上記において、次の観点から行う工夫について。

- ① 公共施設等の全体最適化
- ② 健全な財政運営
- ③ 行政改革の推進

答(1)評価

- ① 2016年住みよさランキング県内第1位、ハグメグ応援事業等の実施、住宅支援による平成28年度の移住者28世帯57人の実績
  - ② こども医療費給付事業の拡大による所得制限と入院時の一部自己負担撤廃、小学校卒業まで完全無料化
  - ③ 教員研修会の充実、学習支援員等配置事業の継続
  - ④ B&G尾上体育館改修事業、文化センター改修事業の実施
- (2)① 公共施設の統廃合やコンパクト化に向け施設総量の適正化を進める。
- ② 中・長期的な財政運営計画を策定、適宜見直しを行う。
  - ③ 政策課題の整理及び体制の強化を行う予定である。



長内 秀樹 議員

会派 : 誠心会  
行政区 : 尾上

※援農

農家ではない人が農作業の手助けをすること。多く、都市部の住民が、短期間で摘果や収穫などの作業を補助するものをいう。

### 1. りんご産業の方向性について

- 問① 労働力不足時代に向けた行政の取り組みは。  
② 仮称りんご農家援農<sup>(※)</sup>制度創設について。

答① 短期的な施策として農業法人化支援事業や農作業環境整備支援事業、中・長期的には個々の農家を法人化へ誘導し、労働条件の環境整備や労働力確保への支援を構ずる予定である。  
② 他県の事例で宿泊場所と食事は受け入れ農家が提供しており、当市でも対応可能なのか、栽培技術研修などの諸条件も含めて状況を把握していきたい。

### 2. 第2次長期総合プラン「子育てしやすさナンバーワン」について

- 問① オリジナル婚姻届、出生届、父子手帳を作成する考えは。  
② 認定こども園、保育園における保育士の配置数について。

答① 市をPRする有効な方策の一つであると考え、市内外に広くアピールできる取り組みとして検討していきたい。  
② 市内の保育士の配置は、国で定めた基準どおり実施している。

### 3. 公衆無線LAN整備事業について

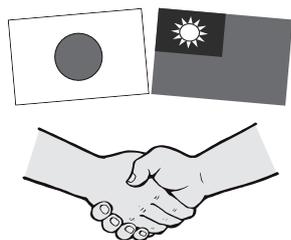
問 この事業について、当市の考えは。

答 観光客の旅行体験発信による当市のPR効果や知名度向上も期待しており、また、災害時の安否確認・情報発信等のツールにもなるため、観光施設のみならず市役所等の主要な公共施設にもアクセスポイントを設置する予定である。



工藤 竹雄 議員

会派 : 所属なし  
行政区 : 八幡崎



### 1. 台中市との友好交流に関する協定について

- 問① 経緯及び理由について。  
② 各事業分野の相乗効果及び費用対効果はどうか。  
③ 交流にかかわる経費等の助成について。

答① 台中市は日本の温泉地との交流を推進しており、東北地方の拠点として青森県を選定、「温泉とリンゴ」をキーワードに当市を選んだということである。このような流れでインバウンドの推進はもとより、さまざまな分野における国際化の進展や市の発展につながるものと判断し、了承した。  
② 効果の主なものインバウンドの拡大が挙げられるが、文化や教育など、すぐにはその効果が見えない分野についてもプラスの効果もたらされると考える。  
③ 交付対象は必要不可欠なものに限定しており、具体的な内容は今後の事業ごとに判断したい。

### 2. 職員の転落事故について

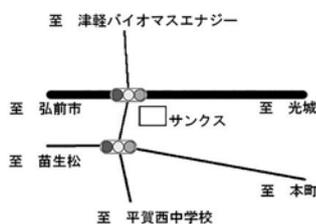
問 事故後の経緯と今後の対応について。

答 事故発生の翌日に部長級を招集、事故概要説明と安全対策の徹底を指示し、全庁にも除雪作業等について注意喚起をした。その後、議員へ事故概要と経緯の説明をしたのち、部長会議、雪に係る会議、豪雪対策本部会議、安全衛生委員会の会議において、実態把握と事故防止対策を検討した。今後は、公共施設の雪下ろしは基本的に外部委託とし、やむを得ず直営で行う場合は、安全ベルトや命綱、ヘルメット等の装着を徹底している。



大川 登 議員

会派：活政会  
行政区：大光寺



### 1. 第2期総合運動施設整備事業について

問 各競技施設の備品の購入状況について。

答 4種公認に規定されている備品が3,119万円、自動計測器ほか運営や維持管理に必要な備品が1,264万円の合計4,383万円がすでに契約済みまたは納入済みである。また、今後肩掛け草刈機や掃除用ロッカー等を約30万円で購入を予定している。

### 2. 水道行政について

問 ① 水道管の耐震化について。

② 旧3行政区の水道料金一律について。

答① 平成31年度より、庁舎や学校等の重要給水施設への基幹管路約32キロメートルを国の水道管路耐震化事業で実施することを予定している。

② 久吉ダム水道企業団への負担は大鰐町が70%、平川市が30%であるなど、当市だけで料金格差問題を解消できる状況にはない。

### 3. 信号機の制御について

問 県道弘前平賀線サックス付近及び市道苗生松本町線の2つの信号のタイミングを、誤認識による信号無視防止のため同一にすることはどうか。

答 黒石警察署に照会したところ、狭い間隔で設置されているため、信号機2台の無理な通過等を防止する目的で信号の変わるタイミングを意図的にずらしているとのことである。当市としては、注意喚起看板等の設置を検討したい。



齋藤 律子 議員

会派：所属なし  
(日本共産党)  
行政区：蒲田

#### ※就学援助制度

公立の小・中学校に通う児童・生徒で経済的理由から就学費用を負担できない者に、給食費・学用品費・修学旅行費などを援助する制度。

### 1. 平成29年1月25日発生 of 雪下ろしでの職員死亡事件について

問 事故発生の原因と今後の対策について。

答 市の安全管理の配慮が欠けていたことが原因の一つと認識している。今後は、公共施設の雪下ろしは基本的に外部委託とし、やむを得ず直営で行う場合は、安全ベルトや命綱、ヘルメット等の装着を徹底している。

### 2. 就学援助制度<sup>(※)</sup>の改善について

問① 準要保護世帯の新入学児童生徒学用品費等の補助単価を引き上げることにについて。

② 新入学児童生徒学用品費等の支給時期を早めることにについて。

答① 今後、国の単価引き上げの決定を踏まえ、協議していきたい。

② まず中学生の入学前支給を実施していきたい。また、小学生に対しても前向きに検討する予定である。

### 3. 平川市役所本庁舎建設問題について

問① 平成28年度、平成29年度のスケジュールについて。

② 本庁舎建設の規模である面積7,200平方メートルの根拠は。

答① 平成29年度は、本庁舎の基本設計、オフィスレイアウト環境整備及び旧平川診療所解体工事を5月までに発注し進める予定である。

② 算定基準をもとに、職員一人当たりの延べ床面積約29平方メートルと本庁舎職員の配置見込み数248人から7,192平方メートルと算出されたため。



佐藤 保 議員

会派：誠心会  
行政区：金屋



## 1. 平川市の自然災害対策について

- 問① 減災対策について。  
② 地区防災力の強化について。  
③ 平成29年度の防災訓練について。

- 答① 土砂災害、洪水、地震等、随時対策の見直しを図っている。そのほか、防災無線や緊急速報メールで災害・避難情報の伝達、指定避難所の小・中学校に標識や誘導標識の設置などを行っている。  
② 現在49の自主防災組織のうち20団体が防災訓練を実施しており、今後はすべての組織に訓練を実施するよう啓発していくとともに、県などで実施する防災講演会などへ積極的な参加を促していきたい。  
③ 小学校体育館において、避難所運営ゲームを活用したイメージ訓練や避難所設営体験などを予定している。

## 2. 第2次平川市長期総合プランについて

- 問① 基幹産業の農業の位置付けについて、市長の思いは。  
② 大型予算である今年度の財政の裏付けについて。

- 答① 将来的な農業の方向性は、長期総合プランにおける「地域特性を活かした農林業」を基本政策とした4つの分野に込められている。  
② 大型事業が続くことによる市財政への不安をなくすためにも、中・長期にわたる財政状況については広報紙やホームページ等で市民へ周知を図っていきたい。



工藤 貴弘 議員

会派：誠心会  
行政区：柏木町

※テレワーク  
情報通信機器を利用して、自宅や会社以外の場所で事業所から任された仕事を行う勤務形態。

※イクボス  
男性の従業員や部下の育児参加に理解があり、積極的に支援する経営者や上司のこと。

## 1. 市職員の転落事故をふまえた市の安全管理・対策について

- 問 市民に対する日々の作業等における安全対策とその啓発について。  
答 県による農作業安全運動のチラシの配布や、作業中の事故防止についての講習会への参加を促すなどして安全対策を図っている。

## 2. 地域おこし協力隊について

- 問① 現在募集している地域おこし協力隊2名の事業内容について。  
② 今後の事業の活用について。

- 答① 観光協会では法人化の業務支援や新イベントの企画・運営等、碓ヶ関地域では道の駅の有効活用や移住生活の発信等を予定している。  
② 本年5月から導入予定の隊員の活動の検証を行いながら増員する予定。

## 3. ワーク・ライフ・バランスの実現について

- 問① 市のワーク・ライフ・バランスに資する取り組みについて。  
② 「テレワーク<sup>(※)</sup>」に対する考え方について。  
③ 「イクボス<sup>(※)</sup>」宣言について。

- 答① 情報誌による育児・介護休業制度の周知や講演会の開催、子ども医療費助成や第2子以降保育料無料化などの子育て支援等を行っている。  
② 解決すべき課題も多く、導入には慎重に検討すべきと考える。  
③ 生産性や市民サービスの向上につながるかと考える。また、イクボス宣言を行う企業に対し研修会費用を助成する予定である。



工藤 秀一 議員

会派：誠心会  
行政区：古懸

※消防団

消防組織法に基づき、各市町村に設置される非常備の消防組織。消防団員は別の職業などに従事しつつ、火災や大規模火災の発生時に自宅や職場から駆けつけて消火活動や救助活動を行う。

### 1. 消防団員<sup>(※)</sup>について

- 問① 当市の団員の欠員及び高齢化について。
- ② 出動時の状況と対策について。

答① 4月1日現在、定数760名に対し92名が欠員している。団員の平均年齢は44.5歳で、50代から60代が全体の32.1%を占めている。

② 団員の約6割が会社勤めであるため、日中の災害時は出動できる団員のみ、会社勤めの団員は休日や夜間などに出動している。平成27年度の出動状況から、現状において消防団の役割を充分果たしていると認識している。

### 2. 碓ヶ関総合支所について

- 問① 公民館への移転、駐車場の確保及び改修工事について。
- ② 建設課、農林課の職員の配置が必要と思われるが、市の考えは。
- ③ テレビ電話の設置台数と利用状況について。

答① 職員用の駐車場は旧保育所用地の活用等で確保したい。改修工事については、公民館事務室の改修やトイレの洋式化、段差の解消等を実施予定である。

② 経済建設課と市民生活課が統合され、現在は市民生活課の中で業務を引き継いでいる。建設、農林関係の相談や要望は、内容によっては本庁舎と協議が必要な事案もあるため、御理解いただきたい。

③ 現在、パソコンを使用して本庁職員と連絡ができるシステムが1台設置されているが、支所職員の説明と本庁職員の電話での説明で済む場合が多く、あまり利用していない状況である。



佐藤 雄 議員

会派：所属なし  
行政区：南田中

### 1. 入札の状況について

問 東部地区デイサービスセンター及び第2期総合運動施設整備事業におけるトイレ棟と倉庫棟の落札率が高いことについて。

答 当市では入札の公平性・透明性を高めるために、平成20年度より建設工事の条件付き一般競争入札を導入し、条件に合った業者がだれでも入札に参加できることとした。これと同時に、参加者が毎回入札会場に訪れなくてもいいように郵便入札も導入している。

今回の入札についても条件付き一般競争入札で実施しており、近年は工事費の積算システム等も非常に進歩していることから、入札参加者が適正に工事費を積算して入札した結果、落札率が高くなっているものと思われる。





佐藤 寛 議員

会派 : 活政会  
行政区 : 新屋

※就労継続支援  
A・B型事業所

A型は障害者と雇用契約を結び、原則として最低賃金を保障する仕組みの雇用型。B型は契約を結ばず、利用者が比較的自由に働ける非雇用型。

### 1. 道路の除雪対策について

問 通学路の歩道を確保するための除雪について。

答 すべての歩道の除雪はできていない状況であるが、歩道の幅や形状、車道の確保のために除雪が実施されていない箇所については、道路の拡幅除雪や排雪により路肩部を広げ、歩行者の通行を確保するよう努めている。

### 2. 障害者への支援対策について

問① 障害者がいる家族に対する訪問相談とその対応について。

② 軽度の障害者のための訓練施設及び福祉就労の拡充について。

答① 市で行う各種相談において電話や来庁することができない方は心のケアが必要な場合があり、必要に応じた訪問相談や回復の兆しが見えた場合にはその他福祉施策に引き継ぐなど、相談者の心身の苦痛が和らぐよう支援している。

② 現在、就労移行支援事業所が1カ所、就労継続支援B型事業所<sup>(※)</sup>が3カ所あり、自立訓練事業所や就労継続支援A型事業所<sup>(※)</sup>はない状況にあるため、今後はこれらの施設の設置を各事業所や関係機関等に働きかけたい。

### 3. バス運行について

問 小国、葛川方面からのバス運行について。

答 温川線との兼ね合いも含め今後検討したい。



石田 昭弘 議員

会派 : 新風の会  
行政区 : 猿賀



### 1. 子育て支援について

問① 小学校卒業までの医療費が無料化になった経緯は。

② 保育園等における発達障害のある児童に対する支援について。

③ 保育園等のAED設置状況について。

答① 給付対象の範囲を検討した結果、医療機関へ受診する頻度が高い小学生までの支援を手厚くし、経済的負担の軽減を図ることとしたものである。

② 保育園等での集団保育により子どもの成長と発達を促進させる障害児保育事業を対象児童10人、7施設で実施している。

③ 照会をした市内14施設のうち11施設が設置、3施設が未設置である。

### 2. 高齢者の交通対策について

問① 高齢者の運転免許証の自主返納について、市長の見解は。

② 高齢者の生活交通の確保(碓ヶ関地域・東部地区のバス運行)について。

答① 高齢者ドライバーの交通事故を防ぐ観点からも有効な手段と考える。

② 冬期間の運行について、特に古懸地区等の地形上の問題で運行ルートを確認できないため、バス以外の車両の検討を重ねている。

### 3. 観光振興について

問① 観光案内所の設置について。

② 冬期間の誘客における冬のツーリズム尾上農家蔵物語について。

答① 設置場所や運営のあり方等、先進地を参考にしたいうえで今後検討したい。

② 農家蔵のみならず雪、温泉、スキー等の資源も絡めた総合的な拡大・発展へ展開していく必要があるため、さまざまな事業の可能性を検討したい。

## \* 議会の動き \*

### 平成29年

- 3月 1日 平成28年度青森県立柏木農業高等学校卒業証書授与式に議長出席
- 1～16日 平成29年第1回定例会
- 8日 第11回庁舎建設委員会
- 12日 社会福祉法人緑風会1.2.3月期誕生会&ボランティア感謝と交流の集いに議長出席
- ◇日 さるか交流館修祓式・落成式・祝賀会に副議長出席
- 14日 第10回議会改革推進委員会
- 19日 第8回碓ヶ関地域芸能発表会に議長出席
- 21日 黒石記者クラブ歓送迎会に議長出席（黒石市）
- 24日 津軽南市町村議会連絡協議会事務引継に議長、事務局長、総務係長出席
- 26日 平川市消防団出初式に議長ほか出席
- 30日 平川市東部地区デイサービスセンター新築落成式に議長ほか出席
- 4月 2日 平成28年度平川市連合婦人会総会に議長ほか出席
- 8日 第17期世界一の扇ねぶた運行実行委員会通常総会に議長出席
- 11日 東北地方整備局岩木川ダム統合管理事務所（浅瀬石川ダム・津軽ダム）開所に議長出席
- 13～14日 第69回東北市議会議長会定期総会に議長、事務局長出席（宮城県仙台市）
- 17日 平成28年度国道7号整備促進期成同盟会監査会に議長出席
- 21日 平川市身体障害者福祉会通常総会に議長出席
- ◇日 平川市納税貯蓄組合連合会総会に副議長出席
- ◇日 平成29年度平川市観光協会総会に議長出席
- 22日 第11回平川市交通安全母の会総会に議長出席
- ◇日 第11回平川市子ども会育成協議会総会に議長出席
- ◇日 第12回平川市読書推進運動協議会総会に副議長出席
- 25日 平成28年度平川市老人クラブ連合会総会に副議長出席
- 28日 平成29年度青少年育成平川市民会議総会に議長出席
- 29日 第36回おのえ花と植木まつり開会式に議長ほか出席
- ◇日 第20回広船志賀坊まつり2017開会式に議長出席
- ◇日 青森縣護国神社第69回例大祭に副議長出席

- ◇日 平成28年度平川市遺族会総会に副議長出席
- 30日 平成29年度青森県南黒地区消防協会観閲式に議長出席（黒石市）
- 5月 10日 平成29年度青森県市議会議長会第1回定期総会に議長、事務局長出席（青森市）
- 12日 総務企画常任委員会所管事務調査
- ◇日 平川市交通安全協会定時総会に議長出席
- 13日 平成29年度平川市連合PTA定期総会に議長出席
- 14日 平川市運動施設平川市陸上競技場・平賀多目的広場完成における落成式に議長ほか出席
- 16日 平成29年度南黒食品衛生協会定時総会に議長出席（黒石市）
- 18日 平成28年度黒石地区交通安全協会通常総会に議長出席（黒石市）
- 19日 平成28年度平川市演劇集団夢ぶたい総会に議長出席
- 23日 青森県選出国議員との懇談会に議長、事務局長出席（東京都）
- ◇日 平成29年度青森県鉄道整備促進期成会総会に副議長出席（青森市）
- ◇日 平成29年度平川市商工会通常総会懇親会に副議長出席
- 24日 第93回全国市議会議長会定期総会に議長、事務局長出席（東京都）
- ◇日 議会広報特別委員会
- 25日 市議会議員共済会第114回代議員会に議長、事務局長出席（東京都）
- 26日 平成29年度公益社団法人平川市シルバー人材センター定時総会に副議長出席
- 27日 平成28年度特定非営利活動法人平川市体育協会通常総会に副議長出席
- ◇日 白岩まつり2017開会式に議長ほか出席
- 29日 平成29年度平川市明るい選挙推進協議会総会に議長出席
- ◇日 有限会社おのえ企画定時総会懇親会に議長出席
- 30日 平成29年度平川市建設協会通常総会懇親会に議長出席
- ◇日 平成28年度特定非営利活動法人平川市文化協会総会に副議長出席
- 31日 平成29年度国道7号整備促進期成同盟会総会並びに津軽地域河川・道路整備意見交換会等に議長出席（弘前市）

### ◆ 編集室から ◆

この原稿を書いているとき、平野部では田植えが、中山間部ではリンゴの一つ成り摘果が始まっています。当市の基幹産業である農業が、実りの秋に向けて本格的にスタートしました。

当議会でも、前定例会からインターネットによる本会議の録画配信が始まり、仕事やライフスタイルに捉われず何時でも何処でも臨場感のある議会の様子を視聴できるようになりました。まだ僅かではあるものの、市内外より反響があり、議会の可視化が叫ばれる今日、これも一つの前進であることでしょう。

もっとも、録画配信は正式な会議録ではなく、またインター

ネット環境も必要であり、より多くの市民の方々にとって開かれた議会であるためにも、この議会だよりの更なる情報発信力の強化が不可欠です。前号、石田委員長が述べられた通り、私たちは与えられたこの二年の任期の中で様々な紙面改善に努めて参りましたが、改革に終わりなし、の言葉の通り、委員の異動があってもより良い紙面づくりが進められていくことと思います。議会の実りの秋へ向けて。

（工藤 貴弘）